

学校法人五島育英会 学校評価制度 2018年度 実施報告書

学校名	東京都市大学二子幼稚園
校（園）長名	細川 秀夫

重点課題名 園児募集の安定	
重点事業目標名 魅力ある園づくりと効果的な広報活動の実施	
具体的施策 (1) 園の教育を効果的に発信する広報活動の展開 (2) 教育活動の充実と発展を図る (3) 社会的な保護者満足度を高める園づくり	
達成目標と具体的取り組み（要約）	達成状況・未達事項・課題
<p>(1) 園の教育を効果的に発信する広報活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報活動に係る学事課との情報共有及び東急グループ等との更なる連携強化 ・ ホームページやポスター・チラシ・の有効活用の研究及び推進 ・ 園説明会参加者 目標数値 150 名 	<p>達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学事課への速やかな報告により、情報の共有ができた。 ・ 二子東急会定例会に全出席、懇親会出席(7, 12 月)等で連携を図った。募集ポスター掲示の協力を得た。 ・ キッズベースキャンプ（東急）との施設相互見学を実施した。（3 月） ・ 7 月に中国広東省にある幼児教育機関「珠海美育源」の視察団（13 名）を受け入れた。 ・ 5 月に入園案内の最新版を作成した。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校評議員から他園の入園案内に比べ、改善の余地があるとの指摘があった。 <p>達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 説明会ポスター掲示、パンフレット等の配布依頼を次の施設等に行なった。 ①都市大子育て支援センター「ぴっぴ」 ②夢キャンパス ③東急スポーツシステム ④東急セミナーBE ⑤住まいと暮らしのコンシェルジュ ・ 幼稚園フェスタ ブース来場者 63 名。 ・ 園説明会参加者 158 名（6 月） 141 名（10 月）。 ・ 東急沿線私立幼稚園合同相談会 24 名（1 月）。 <p>未達事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 新入園児 2 名定員未充足(定員 70 名)。

<p>(2)教育活動の充実と発展を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的に実施してきた教育内容及び新しく展開しているプログラムの充実 ・新幼稚園教育要領に則した教育活動の充実 	<p>達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本物にふれる教育として、移動動物村（11月）父母の会主催N響音楽会（1月）を実施した。 ・次の日本の伝統文化季節行事を実施した。子どもの日（5月）、七夕（7月）、餅つき（12月）凧揚げ（1月）、豆まき（2月）、ひなまつり（3月） ・ふれあい行事の推進として次の2つの行事を実施した。親子であそぶ日（6月）欠席園児除く179名の保護者が参加（ほぼ父親）敬老の日の集い（9月）167名参加 <p>達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菓子箱等の廃材を利用する自由制作の工夫により、子どもの主体性、創造性をより引き出すことができた。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題あそびの実施項目・内容の整理
<p>(3)社会的な保護者満足度を高める園づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的な保護者ニーズを的確に捉えた預かり保育等の子育て支援活動の取組みの継続 ・都市大グループ各校との連携強化、東急グループとの連携強化などにより、肯定的な感想・意見が得られる行事の企画等、保護者満足度を高める園づくりの積極的な推進 	<p>達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課業期間の預かり保育年間延べ利用人数が、1,767人で昨年比133%となった。（15.2人/日） ・今年度より、冬季休業、春季休業の預かり保育を実施した。冬季休業（4日間、利用人数64人）春季休業（2日間 利用人数42人） ・キャンセル料徴収によりキャンセルが半減した。（キャンセル料500円、病欠を除く） ・保護者の要望を受け、9月より半月毎の申込に変更した。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育料無償化に伴う預かり保育希望の増への対応 <p>達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間科学部学生サポーターの園行事への参加人数が延べ38人に減少した。（昨年度88人） ・人間科学部長（教育アドバイザー）による保護者対象講演会を実施した。44名参加 ・等々力中学・高等学校との連携による科学体験教室を実施した。（12月・3月） ・付属小学校ネイティブ教員による多文化活動を実施した。（5月・6月・10月・11月・2月） ・東急スポーツシステムに委託している課外教室が定着した。（遊戯室における運動遊び定員30名） 年中 年24回実施（4月スタート） 年少 年16回実施（9月スタート） ・東急スポーツシステムのコーチによる都市大総合グラウンド活動を継続実施した。 年長対象 6月サッカーボール、10月ボール遊び 年中対象 2月縄跳び <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生サポーターの参加増を含めた幼大連携の充実

重点課題名 教育の質向上	
重点事業目標名 教育課程の整備・検証	
具体的施策 (1) 教育課程・教育内容の整備と検証 (2) 教育内容の充実と発展を図る (3) 教員研修の充実と教職員の意識の向上を図る	
達成目標と具体的取り組み（要約）	達成状況・未達事項・課題
(1)教育課程・教育内容の整備と検証 ・2018年の幼稚園教育要領の改訂に伴う教育課程の見直しや教育内容を検証する	達成状況 ・多文化、調理の各分野のカリキュラム変更を前期に終了した。 ・音楽活動のカリキュラム変更を後期に終了した。 課題 ・活動内容のスリム化
(2)教育内容の充実と発展を図る ・小学校からのアクティブラーニングに繋がる教育活動の在り方を検証し、伝統的な教育内容に加え、食育や都市大グループとの連携、ライズ菜園や東急スポーツアトリオドゥーエ二子玉川など、東急グループとの連携を一層深め、教育の充実を図る	達成状況 ・二子玉川小学校に於いて、同小学校1年生と年長園児との交流活動を行った。また、付属小学校に於いて幼小接続にかかる教員研修会を実施した。 ・子供の発表会活動等に於いて、子ども同士の話し合いの場を設けるなど環境設定を工夫した。 ・収穫した野菜を使った調理活動を実施した。 ・ライズ菜園での野菜の成長観察や種まき・収穫を継続実施した。 4月 ジャガイモ・空心菜 5月 サツマイモ・落花生 6月 観察 7月 かぼちゃ・ジャガイモ・空心菜収穫 9月 かぼちゃ収穫 10月 さつまいも・落花生の収穫 1月 大根収穫 ・東急スポーツシステムとの連携による水泳教室を実施した。(月1回年長対象)
(3)教員研修の充実と教職員の意識の向上を図る ・園内外の教員研修への積極的な参加を推奨し、教育の質向上について教員の意識的な取り組みを図る	達成状況 ・人間科学部木内准教授による教員研修会を実施した。13人参加 ・都私幼主催夏季研修会に延べ13人が参加した。また、世私幼主催の研究大会に全員参加した。 ・園内研修会は教育課程を中心に月1回実施した。 課題 ・研修組織の構築等、研修体制の整備
重点課題名 国際化(国際的に活躍できる人材の育成)	
重点事業目標名 多文化教育の推進	
具体的施策 (1) 多文化に触れる教育の充実 (2) 多文化教育のための教材研究 (3) 付属小ネイティブ教諭との交流の推進	

達成目標と具体的取り組み（要約）	達成状況・未達事項・課題
<p>(1) 多文化に触れる教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多文化に触れる活動をカリキュラムに定着させ、日常的な保育活動としての展開 ・帰国子女の園児保護者等の協力を得て行う仲良し会（学年合同保育）での多文化活動の充実 	<p>達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国旗カード、絵本、世界地図、パズル、ボードゲーム、CD、地球儀を活用した多文化活動を実施した。 ・仲良し会（学年合同保育）による次の多文化活動を実施した。 <p>年少組 世界の食べ物 年中組 ロシアの紹介（在園児）世界の食文化 年長組 イギリスの紹介（退園児）世界の小学校</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年少から年長までの縦割り保育の研究・推進
<p>(2) 多文化教育のための教材研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国旗カード、世界地図・地球儀の活用に加え、世界の絵本・ゲームパズルなどの新たな教材を研究し、保育環境の向上を図る 	<p>達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他園の見学やパンフ収集などにより、英語活動の新たな教材研究を進め、導入への道筋をつけた。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな英語活動教材の活用の研究
<p>(3) 附属小ネイティブ教諭との交流の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・附属小学校ネイティブ教諭による活動をカリキュラムに定着させ、継続的に実施する 	<p>達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・附属小学校ネイティブ教員による「英語であそぼう」を年長対象に5回実施した。（5, 6, 10, 11, 2月）。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・附属小学校の英語カリキュラム充実によるネイティブ教員の派遣回数減少への対応
<p>重点課題名 食育活動</p>	
<p>重点事業目標名 食育の推進</p>	
<p>具体的施策</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 食育の充実を図る（全教員） (2) 食育活動に必要な調理道具・器具の整備（全教員） (3) 食育に対する保護者への啓発（全教員） 	
達成目標と具体的取り組み（要約）	達成状況・未達事項・課題
<p>(1) 食育の充実を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土づくりから野菜の栽培・収穫・調理と一貫した食育活動の充実を図る ・野菜以外の食材を使ったおやつ作り等を通して、食に関する興味・関心を高める 	<p>達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏野菜、冬野菜の計画的な栽培、及び収穫した野菜を利用した調理活動を実施した。 <p>(4月～夏野菜 9月～冬野菜)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜以外の食材を使った調理活動や、オーブン等を利用したおやつ作りの研究に取り組み以下の調理を実施した。 <p>5月 冷たいデザート 6月 サンドイッチ 7月 サラダ、ナスとピーマンの炒め物、夏野菜の炒め物 9月 さつまいも茶巾、スイートポテト 11月 ピザ 1月 スープ、ワンタンスープ、クリームシチュー 2月 カップケーキ、クッキー</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用器具を含め安全な調理活動の実施

<p>(2) 食育活動に必要な調理道具・器具の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育活動に必要な物的環境の整備 	<p>達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理器具の補充（大鍋購入）、調理器具保管場所の整頓を行った。
<p>(3) 食育に対する保護者への啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園での取り組みを適切に保護者に伝え、家庭での食に対する意識を高める等、園児の健康に留意した食生活が送れるような啓発活動の推進 	<p>達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育の啓発指導として、幼稚園ブログの活用及び保護者会に於いて園長講話（全国保健統計調査と食育）を実施した。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食時間の状況把握（時間・食べ残し）
<p>重点課題名 在園児保護者の満足度向上</p>	
<p>重点事業目標名 肯定的な感想・意見が得られる行事等の展開</p>	
<p>具体的施策</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 保護者の信頼が高まるような担任の育成 (2) 分かりやすいプリント作りなど保護者連絡の改善 (3) 行事等による保護者意見の次年度への反映 (4) 防災・防犯・園内事故防止等に係る設備、備品等の検証・点検・整備 	
<p>達成目標と具体的取り組み（要約）</p>	<p>達成状況・未達事項・課題</p>
<p>(1) 保護者の信頼が高まるような担任の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの信頼を高めるための具体的な課題の整理 ・課題に基づき、育成プログラムの立案 ・OJT や管理職からの適切な指導を含め、組織的な対応力の強化 	<p>達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス懇談会での意見等を職員連絡会議で共有した。 ・職員連絡会議資料に指示・伝達事項を明記し、保護者対応の統一を図った。 ・週案を活用し、教育内容の確認と統一を図り、担任の指導力向上を図った。 ・園長による個別保育観察を実施した。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体系的な研修プログラムの作成と実施
<p>(2) 分かりやすいプリント作りなど保護者連絡の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な保護者宛のプリントの作成 ・職員研修を通じた職員力の強化 ・保護者向け連絡手段の研究 	<p>達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な表記、分かりやすい表現、かつダブルチェックにより、正確な配付プリントを作成した。 ・保護者からの質問には、即応し掲示等で周知した。 ・WEL-KIDS 等の園業務支援システムの研究を行った。また、研修会に参加し、他園のシステム運用状況を把握した。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園業務支援システム導入の際の課題整理
<p>(3) 行事等における保護者意見の次年度への反映</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育参観や、参観行事の際に取得する保護者からの意見聴取方法の改善 ・取得した意見について、全教職員が共有する仕組みの構築 	<p>達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想・意見聴取を自由記述形式で行い、その提出率は、ほぼ100%であった。 ・職員連絡会議で管理職が感想の全体概要、改善意見を報告した。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者満足度調査の研究

<p>(4) 防災・防犯・園内事故防止等に係る設備、備品等の検証・点検・整備 ・靴箱・保育室等の備品転倒防止等の耐震対策 ・遊具の点検及び整備による安全確保</p>	<p>達成状況 以下の対策を講じた。 ①靴箱の転倒防止耐震対策を実施 ②AEDの追加購入 ③担架の購入 ④防災頭巾30個購入（預かり保育の保育室） ⑤防災備蓄の見直しによる物品購入 ⑥ピアノの転倒防止耐震対策 ⑦危機管理等マニュアル整備 ⑧怪我の月別統計の作成 ⑨砂場の猫の糞尿対策として、四角錘型の防猫ネットを設置</p> <p>課題 ・防災・防犯・事故防止等、園児を守る安全対策のさらなる充実</p>
--	---

校（園）長による総括
<p>①定員充足は、2019年度募集において目標数値に近い志願者があったが、歩留まりの見込み違いから4月5日現在、定員に2名欠ける68名となっている。一方、編入を認めない年長を除く、年中・年少では、HPを通した編入受け入れの広報を行った結果、9月以降各学年の定員70名を維持することができ、年少・年中は安定した在園児数となった。</p> <p>②夕涼み会、運動会、子どもの発表会、子どもの音楽会等の行事感想の自由記述欄は、「感動し涙がでた、子どもの成長を感じた」という意見で埋め尽くされていた。このことから、今年度の教育活動は、保護者から高い評価、支持を得たと判断している。</p> <p>③今年度、安全対策を重視し、様々な対策を講じた。保護者には、始業式・終業式において、これらの取り組みについて説明したところ好意的に捉えて頂いた。食物アレルギーの園児も増えている状況もあり、安全にはこれからも様々な視点から弛まぬ対策を講じていく必要がある。</p> <p>④預かり保育のニーズが高まり、定員20名を超えることがある。その場合、複数対応としているが、普段の教材準備の時間が削られるなど職員の負担が増加している。</p> <p>⑤都市大グループ、東急グループであるメリットは非常に大きい。他園にはない資源であり、この活用方法をさらに研究し、特色ある教育活動の充実・発展に結び付けていく必要がある。</p> <p>⑥小学校で英語が「教科」として位置づけられたが、多くの幼稚園でも英語活動を取り入れ始めている。国際化の視点であそびを通した英語活動の充実を図る必要がある。</p> <p>⑦園児に直接係る教育活動では、新しい試みは少なかったが、これまで積み上げてきたものを子どもの実態にあわせたり、卒園までに育てて欲しい姿を明確にするなど非常に丁寧な教育活動を展開したことは評価に値する。</p>